

深草山宝塔寺は瑞光寺の北なり。法華宗にして、本堂には釈迦多宝の二尊、高祖日蓮上人の像を安置す。廟塔には日像上人のかゝれし題目の石塔婆ありて、此下には日蓮日朗の遺骨を収む。〔これを宝塔と称す〕日像の説法石は釈迦千体堂の内にあり、鎮守の社には三十番神を祭る、七面明神社は本堂の後山にあり、是経宗擁護の神なり。〔祭は九月十九日なり〕鳥居の額は元政上人の筆なり。当寺は旧極楽寺にして真言律を兼たり、延慶年中に住職良桂律師、日像上人の教法に従ふて法華道場と改む。